

診療時間外の急な病気、事故のときのために

小児救急ガイドブック

(こどもの救急箱)

対象年齢：0～6歳



名古屋市・名古屋市医師会・名古屋市小児科医会

発行日 令和6年6月

はじめに

このガイドブックには、夜間や休日などに、医師の診察を受けるかどうか迷うときのアドバイスが書かれています。そして、家庭でまずやってみる応急手当も書かれています。また、電話相談や医師会ホームページも含めて、名古屋市などの時間外診療体制の案内にもなっています。

症状が軽く、翌日まで様子を見て良いか迷うことも多くあります。まずは休日急病診療所などで医師の診察を受けて判断して貰うことも大切です。一方頻度は少ないですが、すぐに重い症状が出て救急車を頼んで総合病院に行く場合もあります。これらの最終判断は、保護者ご自身が考えます。普段からの子どもの急病についての知識と準備が大切です。どうぞこのガイドブックにも目を通して、安心できる育児に役立たせてください。なお、このガイドブックは、日本小児科学会ホームページを参考にしました。

【公益社団法人日本小児科学会】 <http://kodomo-qq.jp/>

《名古屋市小児科医会》

目

次

■こんな時どうすればいいの？

～このまま様子を見てもいい？すぐに受診した方がいい？～

- 熱が高い(38℃以上) …………… P 1
- 下痢をした、吐いた …………… P 2
- けいれん、ふるえ …………… P 3
- 異物を飲み込んでしまった(誤飲) …………… P 4
- 頭を打った(転倒、転落) …………… P 5
- やけどをした …………… P 6

■受診時に気をつけること

- 医療機関受診メモ …………… P 7
- 受診時持ち物リスト …………… P 7

■名古屋市の小児科救急医療

- 小児科救急医療体制 …………… P 8
- 休日急病診療所一覧 …………… P10

熱が高い（38℃以上）



～受診した方がよいか迷ったら～

電話相談窓口

P9 参照

チェック項目

- 生後3ヶ月未満である。
- 泣いたり笑ったりせず、無表情で活気がない。
- 一日中ウトウトと寝たようにしている。
- 水分も飲まず、おしっこも少ない。
- 顔色が悪く、呼吸が苦しそう。

ひとつ以上あてはまる場合は、すぐに医療機関を受診してください。▶ P9

医師に伝える・
相談するポイント

▶ 本人の様子、いつから、体温

家庭でできる応急手当の方法

上の項目にあてはまらない場合

- 水分は少量ずつ十分に与えましょう。
- 気持ちよさそうなら、冷やしてあげましょう。（わきの下など）
- 着替えもこまめにしましょう。
- 熱があっても元気そうなら、解熱剤は使わないようにしましょう。
《解熱薬には、アスピリンなどは使わないようにしましょう》

※但し、症状が大きく変わったら、電話相談窓口(P9)へ問い合わせたり、休日急病診療所などを受診してください。

下痢をした、吐いた



～受診した方がよいか迷ったら～

電話相談窓口

P9 参照

チェック項目

- 生後3ヶ月未満で何回も吐く。
- 元気がなくウトウトしている。
- おしっこが少なく、くちびるや口の中が乾いている。
- 水様便が頻回にでる。便に血が混じる。

ひとつ以上あてはまる場合は、すぐに医療機関を受診してください。▶ P9

医師に伝える・
相談するポイント

▶ 本人の様子、どんな便・吐物だったか
(具体的に。色や状態、回数、量など)
※必要があれば、便などはオムツを持参

家庭でできる応急手当の方法

上の項目にあてはまらない場合

- 水分は少量ずつ十分に与えましょう。
- 下痢だけなら、便の様子を見ながら、少しずつ、水分や消化の良いものをあげます。
- 吐き気が強い間は、無理に飲ませようとしないで、しばらくは何も飲ませず、様子を見ます。
- 吐き気が落ち着いてきたら、**水分を少しずつ飲ませましょう。**
まずはスプーン一杯からはじめて、様子を見て、徐々に増やします。

※但し、症状が大きく変わったら、電話相談窓口(P9)へ問い合わせたり、休日急病診療所などを受診してください。

けいれん、ふるえ



～受診した方がよいか迷ったら～

電話相談窓口

P9 参照

チェック項目

※けいれんが止まらないか、止まっても意識が戻らない場合は119番へ。

- 生後6ヶ月未満である。
- 何度も繰り返してけいれんする。
- 生まれて初めてのけいれんである。

ひとつ以上あてはまる場合は、すぐに医療機関を受診してください。▶ P9

医師に伝える・
相談するポイント

本人の様子、
いつ、どれくらいの時間(分秒)だったか、
熱があるかないか(あれば、何℃か)

家庭でできる応急手当の方法

上の項目にあてはまらない場合

- 顔を横向けにして、衣類をゆるめます。
- 体をゆすったり、たたいたりしないようにしましょう。
- 口に割りばしや指を入れてはいけません。

※但し、症状が大きく変わったら、電話相談窓口(P9)へ問い合わせたり、休日急病診療所などを受診してください。

異物を飲み込んでしまった（誤飲）



～受診の方がよいか迷ったら～

電話相談窓口

P9 参照

チェック項目

- ※直後に激しく咳き込んだり、ゼイゼイしているときはすぐに119番へ。
- ※呼吸がふだんと比べておかしかったり、苦しんでいる場合は119番へ。
- ※意識・様子がおかしかったり、けいれんや嘔吐がある場合も119番へ。

- 灰皿の水。たばこ一本の1/4以上。
- 大人の医薬品や洗剤・除草剤・殺虫剤などの薬品。
- ボタン型電池（アルカリ電池、リチウム電池。）

ひとつ以上あてはまる場合は、すぐに医療機関を受診してください。▶ **P9**

**医師に伝える・
相談するポイント**

▶ 本人の様子、いつ、何を、どれくらい飲んだか、吐いたか

家庭でできる応急手当の方法

上の項目にあてはまらない場合

- 飲み込んだものによって、対応が違いますので、注意しましょう。
- 吐きそうなくさをしたら、体を横向きにして、吐いたものがのどにつまらないようにしましょう。

（財）日本中毒情報センターの中毒110番で応急処置や受診の必要性についてアドバイスを受けることができます。

（大阪 中毒110番） 072-727-2499 365日24時間対応
（つくば 中毒110番） 029-852-9999 365日9～21時対応
（たばこ専用電話） 072-726-9922 365日24時間テープによる対応

※但し、症状が大きく変わったら、電話相談窓口（P9）へ問い合わせたり、休日急病診療所などを受診してください。

頭を打った（転倒、転落）



～受診の方がよいか迷ったら～

電話相談窓口

P9 参照

チェック項目

※意識・様子がおかしかったり、けいれんがある場合は119番へ。

※高いところから落ちた場合も119番へ。

- 何回も吐き、元気がない。
- 打った部分がへこんでいる。
- 大きなたんこぶができた。

ひとつ以上あてはまる場合は、すぐに医療機関を受診してください。▶ P9

医師に伝える・
相談するポイント

▶ 本人の様子、いつ、どんな状態で打ったか、どの部分が(具体的に)、吐いたか

家庭でできる応急手当の方法

上の項目にあてはまらない場合

- 傷があるときは、傷の手当をしましょう。
- 腫れている部分があったら、冷やしましょう。
- 2～3日間は、元気で、本人の様子に気をつけていましょう。
⇒ 顔色が悪い・歩き方がおかしいなど、いつもとちがう様子であれば、受診しましょう。

※但し、症状が大きく変わったら、電話相談窓口(P9)へ問い合わせたり、休日急病診療所などを受診してください。

やけどをした



～受診した方がよいか迷ったら～

電話相談窓口

P9 参照

チェック項目

※体の表面のおよそ1割におよぶ広範囲のやけどの場合は119番へ。
※顔のやけどや熱気（熱い煙や蒸気）を吸い込んだ場合も119番へ。

- 範囲が子どもの手のひらより広い。
- 水ぶくれができています。
- やけどのところが、白色のとき。
- 手のひらや、関節のやけど。

ひとつ以上あてはまる場合は、すぐに医療機関を受診してください。▶ P9

医師に伝える・
相談するポイント

▶ 本人の様子、どうやってやけどをしたか、
いつ、どこを、どれくらいの部分が（具体的に）

家庭でできる応急手当の方法

上の項目にあてはまらない場合

- 十分に冷やしましょう。
流水（水道水）でも、氷水でもかまいません。流水は直接やけどにあてないようにし、20～30分をめやすく冷やしましょう。
※市販されている冷却シートは使いません。
- 衣服が皮膚にくっついているときは、脱がさずにそのまま衣服の上から冷やしましょう。
- やけどをしたところには、なるべく触らないようにしましょう。

※但し、症状が大きくなったら、電話相談窓口（P9）へ問い合わせたり、休日急病診療所などを受診してください。

名古屋市の小児科救急医療体制

お子さんの体調が
急に休日・夜間に悪くなったら…

まずは、相談しましょう

電話相談窓口

P9 参照



●かかりつけ医

〈一次救急医療機関〉

●名古屋市医師会
急病センター(毎日)

P10 参照

名古屋市医師会急病センターでは、小児科医による診療を行っている曜日もあります。

●平日夜間急病センター(平日)

P10 参照

●各区の休日急病診療所

P10 参照

受診

受診

小児救急ネットワーク758

「昼～準夜間帯」は4病院。「深夜帯」は1病院が
当番制で小児救急ネットワーク758を運営しています。

	昼～準夜間帯・4病院	深夜帯・1病院
受付時間	月～金曜	午後6時～午後11時
	土曜	午後11時～翌朝8時
	日祝 年末年始 (12/29～1/3)	午後11時～翌朝8時30分
	午後1時30分～午後11時	午後11時～翌朝8時30分
	午前8時30分～午後11時	午後11時～翌朝8時30分

担当する病院は日によって異なります。その日、市内のどの病院が担当するかは愛知県救急医療情報センター(P9参照)へお問い合わせ下さい。

相談窓口一覧

●受診した方が良いか分からないとき(電話相談窓口)

小児救急電話相談

☎ #8000(アナログ式電話の方は ☎962-9900)

休日などの夜間に子どもの調子が悪くなった場合など、子どもの症状に応じた医療相談が受けられます。

[相談時間] 毎日

[受付時間] 午後7時～翌朝8時

子どもあんしん電話相談

☎933-1174 (いいナース)

夜間の子どもの急な病気などの時に、家庭での応急手当や医療機関への受診の必要性など、看護師のアドバイスが受けられます。

[相談時間] 平日

午後8時～深夜0時

土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)

午後6時～深夜0時

(保護者の方は)

救急安心センターなごや

☎ #7119(アナログ式電話の場合は ☎951-7119)

救急車を呼んだ方がいいか、今すぐに病院に行った方がいいか等、迷った時に看護師等からアドバイスを受けられます。

[相談時間] 毎日 24時間

●受診先が見つからないとき

救急医療情報センター

☎263-1133

深夜や休日など受診できる病院・診療所が分からない時に、医療機関の情報を提供してもらえます(24時間体制)。

*インターネットにより、受診可能な医療機関を直接検索することもできます。

なお、受診の際は事前に医療機関にご連絡ください。

ホームページアドレス <https://www.qq.pref.aichi.jp/>

●子育てに関する相談

子育て総合相談窓口

保健師等が子育てに関するご相談をお受けします。

[相談時間]	月曜日から金曜日 (祝日・年末年始を除く)	電話相談 面接相談	午前8時45分～午後5時15分 午前9時00分～午後4時30分
--------	--------------------------	--------------	------------------------------------

区	電話番号	区	電話番号	区	電話番号
千種区	☎757-7033	昭和区	☎745-6030	守山区	☎797-5220
東区	☎979-3588	瑞穂区	☎837-3285	緑区	☎899-6518
北区	☎910-6815	熱田区	☎679-3086	名東区	☎769-6288
西区	☎529-7105	中川区	☎364-0065	天白区	☎847-5981
中村区	☎483-6811	港区	☎655-8745		
中区	☎269-7155	南区	☎619-7086		

●休日急病診療所一覧（一次救急医療機関）

診療所名	所在地・電話番号・FAX番号	診療日	受付時間	診療科	
名古屋市医師会 急病センター	東区葵一丁目4-38 市医師会館内 ☎ 937-7821 FAX937-7997	月曜日～金曜日 (ただし、祝日・ 年末年始を除く)	午後7時30分～午後12時 ※小児患者の受診を希望される場合 は、受付時間内に必ずお電話で お問い合わせください。	内 科	
		月曜日～金曜日 (ただし、祝日・ 年末年始を除く)	午前0:00～翌朝6:00	内科小児科	
		土曜日	午後5:30～翌朝6:00		
		日曜日・祝日・ 年末年始 (12/29～1/3)	午前9:30～正午 午後1:00～午後4:30 午後5:30～翌朝6:00		
		下記の受付時間では、小児科医による診療も行っております。 【土曜日】 午後5:30～午後11:00 【日曜日・祝日・年末年始】 午前9:30～正午 午後1:00～午後4:30、午後5:30～午後8:30			
		日曜日・祝日・ 年末年始 (12/29～1/3)	午前9:30～正午 午後1:00～午後4:30	外 科	
日曜日・祝日・ 年末年始 (12/29～1/3)	午前9:30～正午 午後1:00～午後4:30 午後5:30～午後8:30	眼 科 耳鼻咽喉科			

平日夜間急病センター

西 部	中川区高畑一丁目222	☎361-7271 FAX351-5112	月曜日～金曜日 (ただし、祝日・ 年末年始を除く)	午後8:30～午後11:30	内 科
南 部	南区西又兵衛町4-8-1	☎611-0990 FAX611-0981			
東 部	守山区小幡一丁目3-2	☎795-0099 FAX794-0099			

小児患者の受診を希望される場合は、受付時間内に必ずお電話でお問い合わせください。

休日急病診療所

千種区	今池五丁目4-15	☎733-1191 FAX731-3850	日曜日・祝日・ 年末年始 (12/29～1/3)	午前9:30～正午 午後1:00～午後4:30	内 科 小 児 科
北 区	下飯田町3-3-2	☎915-5351 FAX915-7854			
西 区	城西四丁目15-10	☎531-2929 FAX532-7525			
中村区	則武本通2-80-2	☎471-8311 FAX481-9449			
昭和区	川名町2-4-4	☎763-3115 FAX763-2058			
瑞穂区	師長町9-3	☎832-8001 FAX832-8001			
熱田区	伝馬一丁目5-4	☎682-7854 FAX682-0953			
中川区	高畑一丁目222	☎361-7271 FAX351-5112			
港 区	港楽二丁目6-18	☎653-7878 FAX661-7923			
南 区	西又兵衛町4-8-1	☎611-0990 FAX611-0981			
守山区	小幡一丁目3-2	☎795-0099 FAX794-0099			
緑 区	鳴海町字池上98-5	☎892-1133 FAX892-8491			
名東区	丁田町35	☎774-6631 FAX776-7013			
天白区	池場二丁目2403	☎801-0599 FAX801-9791			

上記診療所の診療開始時間は受付時間の30分後からとなりますので、ご注意ください。

歯科保健医療センター

名古屋北	北区平手町1-1-5 (クオリティライフ21城北内)	☎915-8844 FAX915-8844	日曜日・祝日・ 年末年始 (12/29～1/3)	午前9:00～午前11:30 午後1:00～午後3:30	歯 科
名古屋南	南区弥次工町5-12-1	☎611-8044 FAX825-4340			